



中・四タイムス

公益社団法人日本建築積算協会 中国四国支部

〒730-0013 広島市中区八丁堀3-12-301

TEL 082-221-9759 FAX 082-221-9794

ホームページ <http://bsij-ts.com/>

E-mail thugokushikoku@bsij.or.jp



国指定重要文化財 萬翠荘バラ展(写真提供:萬翠荘)

目 次

中国四国支部長「新春あいさつ」	1
国土交通省中国地方整備局営繕部長「平成 26 年 年頭所感」	2
特集「年男の 年女の…」	3
委員会アラカルト	5
ご報告	7
委員会活動	8

表紙説明

国指定重要文化財 萬翠荘

国重要文化財 萬翠荘は松山藩第 15 代当主にあたる久松定謨（さだこと）伯爵が別邸として 1922 年（大正 11 年）に建設したもので、鉄筋コンクリート地上 3 階 地下 1 階である。

設計は東京帝国大学で西洋建築を専攻した木子七郎で、装飾は相原雲楽、ステンドグラスは木内真太郎の製作で、当時第 1 級の建築（装飾）家に委ねている。屋根は石屋根（スレート）で葺かれたマンサード形式のもので、頂部は銅版である。石屋根を支える鉄骨は当時輸入されたものでトラス構造の初期の模範的な形であり、建築家の関心を呼んでいる。外壁は白のタイルでフランスルネサンス様式の 3 連のバルコニーと、豪華な車寄せが特徴である。内部は外国産のチーク材の蝦色と漆喰の白がテーマカラーとなっていて美しい。萬翠荘は外観・内装の美しさ、外国から取り寄せた最高級の建築材、それに最新の設備は誇るべきものだった。

外観のゴシック建築を思わせる重厚な様式はパリのオペラ座にも似て、内部、特に謁見の間はベルサイユ宮殿をも思わせる。各部屋に大鏡とマントルピースが設置されているが、鏡はベルギー製で 92 年前と変わらぬ光を放っている。

7 か所にあるマントルピースはそれぞれ異なるデザインの大理石製で、ガスストーブ（これも当時最先端）が設置されている。

晩餐の間は天井が格天井でここだけは日本の様式である。この天井にかつて水晶の粉がふきつけてあり、星空を思わせるものだったという。天然水晶のシャンデリアは輸入品でこの下に立つと水晶パワーが得られるとの噂が出たこともあり、わざわざ萬翠荘を訪れる人もいる。晩餐の間は食堂で、昭和 29 年から昭和 56 年までフランス料理のレストランとして親しまれた。大正 11 年に建設された当時、昭和天皇が摂政の宮として落成直前の萬翠荘を訪れ 2 泊されている。

摂政の宮は陸軍大演習の総監として高松を訪れたもので、その折に萬翠荘を訪れた。摂政の宮の婚約中の良子（ながこ）様は島津家の出身で、久松伯爵の夫人貞子様の姪にあたる。久松定謨伯爵は落成の翌年から昭和 13 年まで萬翠荘に住み、没後は定武が相続したが、昭和 20 年、敗戦とともにアメリカ軍に接收され将校の宿舍となった。接收解除後は松山商工会議所、松山家庭裁判所、愛媛県芸術館、愛媛県美術館分館として使用された。

平成 21 年 4 月指定管理制度により管理を民間に委託、現在に至っている。



新春あいさつ



中国四国支部長 栗 栖 繁

新年明けましておめでとうございます。積算協会中国四国支部の皆様には、午年の清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、私自身昨年4月に支部長に就任し、他団体との交流、支部各種会議への出席、各種講習会での挨拶、本部の役員会への出席や依頼への対応、県支部や他ブロック支部への訪問など、多忙を極めた8ヶ月間でした。

そうしたいわば支部長のルーチンワークをこなしてみても、いまだ見えなかった積算協会の良い面、不十分な面などの現況が分かってきたように感じます。今年は、こうした経験を生かして、「建築と積算」でもテーマとなっているマネジメントの観点を加えて、支部活動を一層効果的なものにしていきたいと考えております。

これまでも積算協会では、ペリカン大作戦での企業訪問により活動内容が各方面に浸透し始め、「建築コスト管理士ガイドブック」、「建築積算士ガイドブック」の相次ぐ刊行により、積算技術の向上・普及に大きく貢献しております。

また、一昨年9月には公益社団法人に移行し、社会的に期待される役割を果たす体制が強化されました。こうしたことにより、積算協会の新しい飛躍の土台が築かれつつあり、協会役員・会員も大いに勇気づけられ、自信をもてたものと思います。

こうした中、当支部でもペリカン大作戦や講習会などに積極的に取り組んでおり高く評価されるべきですが、他方、私の力の至らなさにもよりますが、諸活動の間の関連性がやや薄く個別的に展開されており、成果が見えにくいようにも感じております。

例えば簡単なSWOT分析をしますと、協会の「強み」は、積算の専門技術者集団ということであり、また外部環境のプラス面の「機会」は、官庁の工事の数量契約化に伴う積算の重要性の高まりが一つに上げられます。しかし、ペリカン大作戦の対象はゼネコンなど、民間のみを中心としているように見えます。また、諸活動は、協会会員のため＞積算士のため＞建設業界のためという目的の違いがあるはずですが、それぞれの関係性が曖昧なような感じもします。さらに、大都市と地方では、積算の置かれている状況が大きく異なっていますが、その違いが諸活動に反映されていないようにも見受けられます。

今年は、こうしたことを踏まえて、事業の取り組み方向を再検討しながら、勇気と自信を持って、諸活動を効果的に実施していきたいと思います。どうか皆様の一層のご協力をよろしくお願い致します。

最後に、今年の皆様のご健勝とご活躍を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社広島建築住宅センター 代表取締役社長

平成26年 年頭所感



国土交通省 中国地方整備局
営繕部長 大町 徹

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人日本建築積算協会中国四国支部会員の皆様におかれましては、新たな年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中の官庁営繕行政へのご理解と事業推進のご協力に対しまして御礼申し上げます。

年頭にあたりまして、官庁営繕行政に関して所感を述べさせていただきます。

官庁施設の防災機能強化

平成23年3月に発生しました東日本大震災に鑑み、官庁施設の耐震安全性の確保は喫緊の課題であり、南海トラフ巨大地震等に備えた地震・津波対策も関係機関が広域的な連携を図りながら計画的に推進していく必要があります。中国地方の行政機関には管内で発生した災害への対応だけでなく他の地域への支援も含めた役割が期待されますので、広島港湾合同庁舎の耐震改修工事を完成させるほか、防災拠点となる官庁施設の防災機能強化を推進してまいります。

次世代へのストックの継承

高度成長期に整備された社会資本の老朽化対策も大きな課題です。官庁施設においても、築後30年を超えるものが全体の約4割となっています。今後、大規模修繕や設備システムの更新が増えることが見込まれ、官庁施設の老朽化対策を計画的かつ効率的に行うことが求められます。このため、既存の官庁施設を安全により長期にわたって利用し、トータルコストの縮減等を実現するよう、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業の実施、施設の保全に係る企画・指導事務の強化といったハード・ソフト両面からの対策を進めてまいります。

木材利用の促進

平成22年10月に「公共建築物等における木材利用の促進」が施行され、関連する技術基準、公共建築物における木材利用の事例集、ガイドラインが整備されるなど、官庁施設整備における木材利用の取り組みが本格化しています。中国地方整備局でも鳥取県境港市において境税関支署を木造で整備する事業が昨年完成したところです。引き続き内装の木質化等により、木材利用の促進を図って参ります。

最後になりましたが、本年も皆様にとって良き年になりますよう念願して、私の年頭所感とさせていただきます。今年もよろしくお願いいたします。



株式会社杉田三郎
建築設計事務所

杉田 輝征
〔広島県〕

今、ひとりごと

今、私は還暦からあつという間の古希、そして今年 72 歳の年男。年毎に高齢者の仲間の世界で揉まれ、こづかれ、煽てられ、いやはや人口過密で、ここも年々住み難い処と成りつつあると感じる今日この頃です。

今、65 歳以上の高齢者は 3000 万人を超える。全人口の 24% との事、昭和 25 年で 4.9%、昭和 60 年でも 10% 位であったと聞く。老人の夢の世界は何処へ。

今、70 歳以上で働く人は、300 万人近くに膨れ上がりましたが、昭和 50 年には 100 万人足らずでした。多くの若者の有益な能力を棚に上げ、年寄りの力を継続させ、社会に生かせと、マスコミや評論家が叫ぶ。若者よ働け。私たちを、自由に、好き勝手にさせてくれと叫びたい。

今、80 歳以上が 900 万人を超える現状です。医者に行けば好きなものは食べれず痩せなさい、酒は飲まないで、散歩やランニングは止められて安全なヘルスクラブで健康を、又薬を朝晩飲み続けています。

今、心地良い年寄りの安住の地を探す事より、狭い一本道を、黙ってトボトボと限りなく歩くしか無い様ですね。

「朝に生まれて夕べに死す」 ウスバカゲロウの世界を夢見たい心境です。



高杉一級建築士事務所

高杉 英資
〔岡山県〕

まだいけるかな

20 数年前、地元の建築士会会報への寄稿依頼があり、「人生五十年……」やりたいことは今のうちにと、若気の至りで先の無いような事を書いて、掲載していただいた記憶があります。

私自身も、色々なことに興味を持ちましたが、色んな制約もあり広く浅くで自己満足していたように思います。

その中で、一番力を入れていたのが、遅くから始めたゴルフでした。その寄稿文の題目も「今は ゴルフ」ではなかったかと思います。

それが、20 数年後の今も、ゴルフです。全く上手になりませんがなぜかやめる気になりません。人生も五十年を通り越して、遂に七十年をも通り越してしまいました。

いつまで続くか分かりませんが、まだまだいけそうです。人間生きていれば何かひとつ位、相性の良いものに出会えるものかと。



有限会社卓建築事務所

西吉 卓
〔徳島県〕

昔の思い出

今回年男の寄稿の案内があり初めて今年は年男かと思った次第です。それまではまた年を取ることに位しか思っておりませんでした。

時の流れは速いもので昔を思いますと、製図版・T 型定規・三角スケール・三角定規・建築基準法令集を持って徳島から汽車で高松着、連絡船に乗り岡山県の宇野港より岡山駅に出て急行列車にて広島駅着、一級建築士の受験に行った思い出が浮かんできます。その時は広島市内の様子が良くわからなくて受験会場（高等学校）まで歩いて行ったことが思い出となっています。今では考えられない様な事と思います。

それからは、社会情勢の変化により仕事のやり方も大きく変わり、スピードと正確さを求めた仕事に変化し、ますますスピード化が進んでくると思いますので、社会に敏速に対応出来る様に自己研磨に努めなくてはならないと思います。



株式会社都市建築
総合設計

服部 映子
[岡山県]

包丁を研ぐように

先日、地元のイベントで、刀工さんの作るペーパーナイフに出会いました。私の地元は、備前福岡の名刀で知られる瀬戸内市ですが、今もなお、地元で刀工さんが刀を作られていると知り、驚きました。小さいながらも刀のような刃先、微妙な反り、手にとると、買わずにはいられなくなりました。購入したペーパーナイフに名前を刻む事も出来ますと言われ、後日、工房にお邪魔しました。「たがね」の向きをすばやく変えながら、金槌で連打すると、まるで筆で書いたように見事な文字が刻まれます。まさに匠の技です。そして、その匠の技で、包丁の研ぎ方も教えていただきました。砥石の使い方、包丁の角度、手の位置、刃先の研ぎ加減を確認する所作。刀工さんの所作は、全てが美しく、無駄がありません。そのお手本の後、恥ずかしい程不器用な手つきで私も包丁研ぎに挑戦しました。不器用なりに自分で研いだ包丁の切れ味は、翌日想像以上でした。改めて、道具は手入れをする事により、甦ることを感じました。

年女の今年、包丁を研ぐように、自分も研ごう。出来れば、美しい所作を心掛けながら。きっと、新たな何かがウマれるはずだ。ヒヒーーン。



有限会社一級建築士
事務所ヤマシタ設計

和田 隆二
[島根県]

今日の自分は 12 年後の自分

「午年生まれ」だということを一度も意識したことがなく、「年男」といわれてもなかなかパツとこない。この度の寄稿案内を頂かなければただの 35 歳のおっさん。

35 歳になり、前回 (23 歳) の頃とは職場は変わり、生活も変わり、外見も変わり、良くも悪くもずいぶん変わったような気がします。

次の年男は 47 歳。どう変わっているだろうか…。いろいろ考えたところでなにも変わらない。

35 歳、まだまだ折り返し地点と言わせないぞと、1 日 1 日の積み重ねを大事にし次、成長した自分がいるよう今、努力していきたいと思います。



委員会アラカルト

【鳥取県部会】



美保テクノス株式会社

副支部長・
鳥取県部会委員長
清水 勉

引き算の時代

平成 25 年 12 月米子市において「公共建築工事費算出等について」講習会を開催させて頂いたところ、35 名の大変大勢の方においで頂きました。改めて公共建築工事費に対する関心の深さを再認識し、学びたいテーマには人が集まるという足し算を体験しました。

一方、鳥取県の人口ピラミッドを見ると 10 未満、10 代、20 代の各年代人口はそれ以上の各年代人口の 7 割に減少しており、少子化が確実に進行していることに気づきます。

この引き算の時代に備えて思うのは、設計してから見積する、見積が何度やっても終わらない従来の手法を改め、概算してから設計する、見積は一回で終わる！「無駄なく適正品質を提供する」手法に変わるよう、コスト管理手法が広く関係各位の当り前になって欲しいことであります。

皆様が健康で佳い年であります様に、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

【島根県部会】



株式会社コラム建築
設計事務所

島根県部会委員長
田原 辰男

積算について思うこと

平成 25 年度は松江市において「建築数量積算の実務」の講習会を開催し 19 名の受講がありました。ありがとうございます。受講された方のスキルアップのお役に立てれば幸いです。また、受講者を講習会に出席させて頂いた各社にお礼申し上げます。

新入社員の教育として少し落ち着いた 6 月、7 月に実施しましたが、受講者の年齢は幅広く改めて積算の講習に対する期待、或いはその要求を感じたところです。

さて当社が先般ある公共の指名プロポーザルがあり、その中で技術職員数・資格に積算の分野がありました。ただ資格としては、1 級建築士、2 級建築士、その他（技術者）とあり積算の分野があるのは結構なことです。積算士、コスト管理士はその他の資格となるのかなと思いまだまだ認知が低いように思います。積算資格の認知度をあげればもっと講習会は盛になると思いますがいかがでしょうか。

【岡山県部会】



株式会社アークコスト
マネジメント

岡山県部会委員
倉西 透

人の振り見て我が振り直せ

昨年の初夏に（公社）日本建築積算協会中国四国支部からの講習会の講師の御依頼がありました。ゼネコン在籍時に建築系専門学校での非常勤講師の経験があったものの、今回の対象は実際に実務にあたられている方々。私などでいいものかと思いましたが「頼まれごととは試されごと」と御引き受けさせて頂き、無事に務めさせて頂きたく事が出来ました。先日、中国四国支部先輩の講師による講習会を受講させて頂き、自分の講師具合の検証をしてみました。やはり先輩講師。時間を有効に使い、講習内容に加えて経験豊かな情報を織り交ぜて話をされており、「流石」の一言でした。もしも次に講師を務めることがありましたら、諸先輩を見習い、少しでも受講者の方のお役に立てる講師が務められればと思います。

【会員委員会】

株式会社ハジメ積算
コンサルタント会員委員会委員長
網代木 学

平成 25 年度工場見学のご案内

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられた事と存じます。

さて、会員委員会では今年 2 月に賛助会員である株式会社松岡製作所様にご協力頂き工場見学会を開催します。本原稿執筆時は鋭意企画中のため、詳細は同封のチラシをご覧ください。

先日工場見学の準備のため松岡製作所の加工工場へ伺いました。松岡社長との打合せでは、工場内は少人数で見学を行い、技術体験していただくという提案を受けました。これは、皆さんに松岡製作所独自のステンレス加工技術を深く知ってもらいたいという意気込みと感じました。会員委員会としても賛助会員である松岡製作所様を応援したいと思い、異例の少人数による開催となりますが必ず良い見学会になると信じております。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新入会員のご紹介

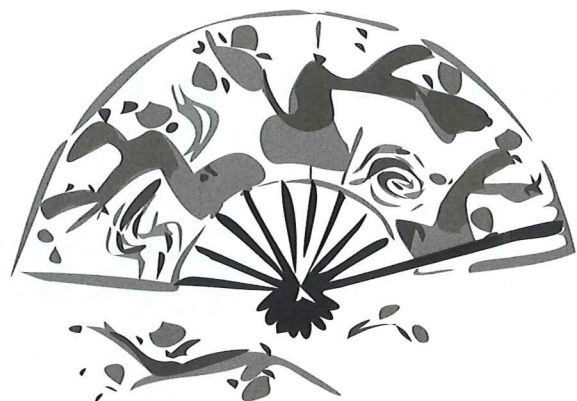
平成 25 年 1 月以降、中国四国支部では 16 名の個人会員と 1 社の賛助会員の方々からご入会をいただきました。心よりお礼申し上げます。(順不同・敬称略)

《個人会員》

山口県	瀧川 竜夫	瀧川建設(株)	島根県	坂本 知三	(株)坂本建築設計事務所
	福井 敏彦	(有)福井環境設計事務所	岡山県	香山 純子	(有)ツジ建築設計事務所
広島県	宮本 大造	大成建設(株)		赤田 知視	(株)大本組
	佐藤 稔	(株)フジタ		久山 潔	(株)エルデ
	元廣 洋介	(有)元廣建築設計事務所	愛媛県	大野 仁	(株)大野建築構造事務所
	西原 尚子	(株)縁	徳島県	川島 正浩	川島建築事務所
	土居 隆博		香川県	土岐 幸宣	(有)土岐建築設計事務所
島根県	小田 裕子	(有)万設計		小笠原 宏明	(株)ジョー・コーポレーション

《賛助会員》

広島県 渡辺 隆司 不二サッシ(株)中四国支店



ご 報 告

建築積算士「更新講習」広島会場 開催

人材育成委員会

11月15日（金）広島インテスにおいて、平成25年度「建築積算士更新講習」を開催いたしました。栗栖支部長の挨拶に続き、広島県営繕課長の宮地正人様よりご挨拶を頂戴し、約3時間30分の講習を無事終えることができました。当日の会場受講者は57名でした。遠方より、またお忙しい中受講いただきまして誠にありがとうございました。



建築積算士補認定校「講師交流会」開催

教育委員会

中国四国支部では、建築積算講座を5校の学校に導入いただいております。このたび、建築積算士補認定校の講師の方々にお集りいただき、下記の通り講師交流会を実施いたしました。建築積算士補資格認定制度について、「建築積算」授業で苦勞されているところ、工夫されているところ、建築積算士補資格者を増やすためのご提案などの意見交換を行いました。

開催日時 平成25年11月20日（水） 15:00～19:30
場 所 (公社)日本建築積算協会中国四国支部 事務局
出席者 中国四国支部長 栗栖 繁

支部教育委員長 小田武彦

支部教育委員 菅原 博

本部教育委員長 高松隆夫（本部理事）

〈講師〉

横段隆弘（副支部長）

広島工業大学、広島国際大学、広島女学院大学

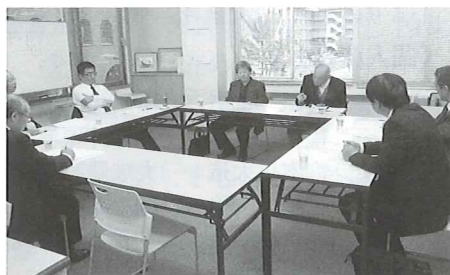
森川洋至（教育委員）

広島工業大学

林 敏一（香川県部会委員長） 四国職業能力開発大学校

三木康史（積算士）

岡山理科大学専門学校



建築積算士補制度について

当協会は、全国各支部にて建築積算講座の開設と支援を推進しています。

建築積算士補は、建築積算士の準資格として、平成21年4月に学校等の教育機関における積算教育支援の開始を機会に創設しました。

建築積算士補の資格は、大学・短期大学・高等専門学校・工業高校・職業能力開発大学校・各種専門学校等において当協会作成のテキストによる教育を実施し、当協会の試験に合格し登録することにより付与されます。

建築積算士補認定校とは、当協会の認定した建築積算に関する講座を有する学校です。

委員会活動

平成 25 年 1 月～12 月

【総務財務委員会】

1 月 10 日	(社) 広島県建築士事務所協会 新年互礼会	広島市出席者: 太田前支部長
1 月 25 日	(一社) 日本建築構造技術者協会中国支部 賀詞交歓会	広島市出席者: 大津副支部長
4 月 3 日	支部会計監査	広島市出席者: 4名
4 月 19 日	平成 25 年度支部定時総会	広島市出席者: 46名
5 月 17 日	(公社) 日本建築家協会中国支部 懇親会	広島市出席者: 栗栖支部長
5 月 23 日	(一社) 広島県設備設計事務所協会 懇親会	広島市出席者: 栗栖支部長
5 月 26 日	(一社) 山口県建築士会 通常総会・交流会	山口市出席者: 埴野委員長
5 月 28 日	(一社) 広島県建築協会中国支部 懇親会	広島市出席者: 栗栖支部長
5 月 29 日	(公社) 広島県建築士会 懇親会	広島市出席者: 大津副支部長
5 月 31 日	(一社) 広島県建築士事務所協会 懇親会	広島市出席者: 栗栖支部長
6 月 6 日	(一社) 日本建築構造技術者協会中国支部 懇親会	広島市出席者: 栗栖支部長
11 月 9 日	岡山建築設計クラブ第 20 回「ワンデーエクササイズ」	岡山市出席者: 栗栖支部長

【広報委員会】

1 月 4 日	「中四タイムス」第 44 号 発行
5 月 14 日	支部広報委員会 (第 1 回)
7 月 24 日	「中四タイムス」第 45 号 発行

【会員委員会】

2 月 8 日	「極限環境における施設の建設と維持保全」講演会	広島市参加者: 38名
2 月 8 日	「技術発表会」	広島市参加者: 38名
2 月 8 日	会員交流会	広島市参加者: 26名
4 月 19 日	「営繕工事における入札契約制度」講演会	広島市参加者: 54名
4 月 19 日	総会後懇親会	広島市参加者: 55名
4 月 20 日	積和会ゴルフコンペ (第 35 回)	廿日市市参加者: 13名

【教育委員会】

1 月 21 日	岡山理科大学専門学校 士補認定校説明訪問	岡山市訪問者: 横段副支部長 小田委員長 中桐委員長
1 月 22 日	建築積算士補試験 広島工業大学 (後期)	広島市受験者: 11名
3 月 13 日	建築積算士補試験 四国職業能力開発大学校	丸亀市受験者: 4名
4 月 1 日	建築積算士補認定校 岡山理科大学専門学校 授業開始	岡山市受講者: 60名
4 月 9 日	建築積算士補認定校 広島工業大学 授業開始	広島市受講者: 100名
4 月 11 日	建築積算士補認定校 四国職業能力開発大学校 授業開始	丸亀市受講者: 16名
4 月 11 日	建築積算士補認定校 広島国際大学 授業開始	広島市受講者: 127名
4 月 12 日	建築積算士補認定校 広島女学院大学 授業開始	広島市受講者: 41名
7 月 23 日	建築積算士補試験 広島工業大学	広島市受験者: 96名
8 月 1 日	建築積算士補試験 広島国際大学	広島市受験者: 109名
8 月 2 日	建築積算士補試験 広島女学院大学	広島市受験者: 39名
8 月 22 日	支部教育委員会 (第 1 回)	広島市出席者: 4名
9 月 20 日	広島工業大学専門学校 士補認定校説明訪問	広島市訪問者: 小田委員長
11 月 13 日	建築積算士補試験 四国職業能力開発大学校	丸亀市受験者: 12名
11 月 20 日	建築積算士補認定校講師交流会	広島市参加者: 8名
12 月 18 日	建築積算士補試験 岡山理科大学専門学校 (夜間部)	岡山市受験者: 9名
12 月 19 日	建築積算士補試験 岡山理科大学専門学校 (昼間部)	岡山市受験者: 39名

委員会活動

平成 25 年 1 月～12 月

【人材育成委員会（講習部会）】

2 月 6 日	宇部市 講師派遣（第 2 弾）	宇部市受講者：26名
2 月 22 日	支部講習委員会（第 2 回）	広島市出席者：4名
2 月 22 日	積算学校反省会	広島市出席者：9名
5 月 11 日	「建築数量積算の実務」講習会（高松会場）①	高松市受講者：5名
5 月 12 日	「建築数量積算の実務」講習会（高松会場）②	高松市受講者：5名
5 月 18 日	「建築数量積算の実務」講習会（高松会場）③	高松市受講者：4名
5 月 19 日	「建築数量積算の実務」講習会（高松会場）④	高松市受講者：4名
6 月 15 日	「建築数量積算の実務」講習会（広島会場）①	広島市受講者：12名
6 月 16 日	「建築数量積算の実務」講習会（広島会場）②	広島市受講者：12名
6 月 22 日	「建築数量積算の実務」講習会（広島会場）③	広島市受講者：15名
6 月 23 日	「建築数量積算の実務」講習会（広島会場）④	広島市受講者：15名
6 月 29 日	「建築数量積算の実務」講習会（松江会場）①	松江市受講者：15名
6 月 30 日	「建築数量積算の実務」講習会（松江会場）②	松江市受講者：15名
7 月 4 日	「建築数量積算の実務」講習会（松江会場）③	松江市受講者：15名
7 月 4 日	「ここが知りたい勉強会」～防音・騒音対策工事～	広島市参加者：10名
7 月 5 日	「建築数量積算の実務」講習会（松江会場）④	松江市受講者：15名
8 月 24 日	「建築コストマネジメント」講習会（前半）	広島市受講者：5名
8 月 25 日	「建築コストマネジメント」講習会（後半）	広島市受講者：5名
8 月 29 日	「ここが知りたい勉強会」～トップライト工事～	広島市参加者：6名
9 月 8 日	「建築積算」講習会	広島市受講者：5名
9 月 12 日	「ここが知りたい勉強会」～オーダーキッチン工事～	広島市参加者：6名
9 月 17 日	「建築数量積算の実務」講習会（高知会場）①	高知市受講者：14名
9 月 18 日	「建築数量積算の実務」講習会（高知会場）②	高知市受講者：14名
9 月 25 日	「建築数量積算の実務」講習会（高知会場）③	高知市受講者：14名
9 月 26 日	「建築数量積算の実務」講習会（高知会場）④	高知市受講者：14名
10 月 3 日	「ここが知りたい勉強会」～内装（畳）工事～	広島市参加者：4名
10 月 4 日	「建築数量積算基準」講習会（広島会場）	広島市受講者：14名
10 月 18 日	「建築数量積算基準」講習会（松山会場）	松山市受講者：22名
11 月 7 日	「ここが知りたい勉強会」～アスベスト工事～	広島市参加者：7名
11 月 21 日	「公共建築工事費算出等について」講習会（高知会場）	高知市受講者：25名
12 月 5 日	「ここが知りたい勉強会」～PC 工事～	広島市参加者：7名
12 月 5 日	「公共建築工事費算出等について」講習会（米子会場）	米子市受講者：35名
12 月 14 日	「建築積算実技」講習会（前半）	広島市受講者：6名
12 月 15 日	「建築積算実技」講習会（後半）	広島市受講者：6名

【人材育成委員会（資格制度部会）】

1 月 27 日	建築積算士二次試験	広島市受験者：34名
4 月 1 日	支部資格制度委員会（第 1 回）	広島市出席者：4名
5 月 31 日	支部人材育成委員会（第 1 回）	広島市出席者：3名
6 月 14 日	支部人材育成委員会（第 2 回）	広島市出席者：5名
10 月 27 日	建築積算士「一次試験」	広島市受験者：11名
10 月 27 日	建築コスト管理士「試験」	広島市受験者：5名
11 月 15 日	建築積算士「更新講習」	広島市受講者：57名
12 月 16 日	支部人材育成委員会（第 3 回）	広島市出席者：7名

【その他】

1 月 22 日	支部役員選任委員会（第 2 回）	広島市出席者：7名
7 月 23 日	支部ペリカン推進委員会（第 1 回）	広島市出席者：6名
7 月 26 日	国土交通省中国地方整備局 営繕部長へ挨拶訪問	広島市訪問者：栗栖支部長 岸本副支部長
9 月 13 日	支部ペリカン推進委員会（第 2 回）	広島市出席者：6名

一般社団法人日本建築積算事務所協会(JAQS)

建物の価値を高める「コストと品質」を管理する積算事務所

我々積算事務所は、コスト管理の専門家集団として建築コストの透明性、客観性、妥当性を確保し、社会のニーズに積極的に対応しています。

(本 部)

名 称 一般社団法人日本建築積算事務所協会 理事長 楠山 登喜雄

所 在 地 〒105-0021 東京都港区東新橋 2-10-10 東新橋ビル 2階

電話 03-5972-1520 FAX 03-5972-1521 E-mail:contact@jaqs.jp

URL <http://www.jaqs.jp/>

支 部 関東支部、東海支部、関西支部、中国四国支部

(中国四国支部)

名 称 一般社団法人日本建築積算事務所協会 中国四国支部 支部長 久保田 寿

所 在 地 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-12 砂原ビル 301号

電話 082-511-8520 FAX 082-511-8525

URL www.jaqs.jp/chusikoku/

中国四国支部 会員名簿

中国四国地域の積算事務所を代表する支部です。私達、支部の活動によりコストマネジメントのプロフェッションとして信頼を確立していくことを目標としています。

会員企業名	登録者名	住所・TEL・FAX
おおぞら建研(有)	菅原 博	〒733-0821 広島市西区庚午北 1-10-5
		082-272-2921・082-271-6629
(株)岡田積算建築設計	岡田 泰司	〒730-0047 広島市中区平野町 11-12
		082-299-5052・082-504-7621
(有)久保田建築積算事務所	久保田 寿	〒730-0012 広島市中区上八丁堀 7-5 ピロティヒロシマビル
		082-511-9355・082-511-9357
(株)ハジメ積算コンサルタント	網代木 学	〒730-0048 広島市中区竹屋町 3-8
		082-248-0705・082-248-0702
(株)広島二葉積算	小田 武彦	〒730-0041 広島市中区小町 2-20 小町メールビル 3F
		082-247-6941・082-245-8144
(株)古澤建築事務所	古澤 正孝	〒734-0051 広島市南区東青崎町 10-3 洋和ビル 1F
		082-285-8820・082-285-8821
(株)ペントハウス積算	椿野 隆則	〒732-0056 広島市東区上大須賀町 1-23
		082-506-0570・082-264-7722

※ 入会ご希望の方は会員入会申込書をご請求下さい。



[賛助会員・協賛会社]

謹 賀 新 年 2014 年

(順不同)



株式
会社

石崎硝子店

代表取締役 石崎 幸弘

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目14-13
TEL(082)243-4331(代) FAX(082)244-7329

E-mail: info@ishizaki-garasuten.co.jp
ホームページ http://www.ishizaki-garasuten.co.jp

<http://www.kyoei.co.jp/fks>

進化し続ける建築積算・見積システム

FKS・COMPASS

協栄産業株式会社

最適な建築コストアプリケーションを提供いたします
ソリューション第二事業部 営業部 大阪市福島区福島3-14-24
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810



建設資材の総合商社

光和物産株式会社

広島支店 / 広島市西区大芝2丁目10番23号
〒733-0001 TEL(082)230-1855 代 FAX(082)230-1866



スパイラルダクト製造販売・施工

株式会社メンテックワールド

〒739-0146

東広島市八本松飯田二丁目2番1号

TEL 082-436-4800

建築積算を基盤にコスト面から
建築のあらゆるステップでクライアントのパートナー

(公社)日本建築積算協会 (一社)広島県建築士事務所協会 (一社)日本建築積算事務所協会 会員



株式会社 岡田積算建築設計

業務内容: 建築積算・建築コスト管理
プロジェクトマネジメント
建築設計・工事監理

〒730-0047 広島市中区平野町11-12
TEL 082-299-5052 FAX 082-504-7621
URL: http://www.okada-sekisan.co.jp/

okada building survey & architectural office

人と建築の交りを求める……



大旗連合建築設計株式会社

代表取締役 大旗 健



本社 〒730-0051 広島市中区大手町3丁目3番27号
電話 (082)244-3734 FAX (082)244-2642
<http://www.oohata-arch.co.jp/>

岩国営業所



(公社)日本建築積算協会 会員 (一社)日本建築積算事務所協会 会員

有限
会社

久保田建築積算事務所

業務内容: 建築積算・建築コスト管理

〒730-0012
広島市中区上八丁堀7番5号ビロティヒロシマビル
TEL(082)511-9355 FAX(082)511-9357

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION

清水建設

～新しい国づくりに貢献する～

株式会社 砂原組



〒730-0047 広島市中区平野町1番16
TEL(082)243-7421 FAX(082)243-7420
URL <http://www.sunahara.co.jp>

想いをかたちに

竹中工務店

www.takenaka.co.jp



有限会社 中桐建築設計事務所

代表取締役 中桐 慎治

〒710-0261 岡山県倉敷市船穂町船穂 1444-1
電話 086-552-4141 FAX 086-552-4143

(公社)日本建築積算協会 (公社)日本建築家協会
【所属団体】(一社)岡山県建築士事務所協会 (一社)岡山県建築士会
岡山建築設計クラブ

■設計・監理 (一社)徳島県建築士事務所協会会員



株式
会社

西田設計

代表取締役 西田 功

〒770-0943 徳島市中昭和田 2-23-2
TEL (088)654-7766 (代) FAX (088)654-7769
E-mail: nishida@tk2.nmt.ne.jp



〔協賛会社〕

謹 賀 新 年 2014 年

(順不同)



株式会社 ハジメ積算コンサルタント

デザインとコストの調和をマネジメント
建築各段階のコスト管理を提案します。

代表取締役社長 網代木 学

広島市中区竹屋町3番8号 〒730-0048
TEL(082)248-0705 FAX(082)248-0702
<http://www.hajimesekisan.co.jp/>

《 業 務 内 容 》

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ フラット 35 適合証明
- ◆ 低炭素建築物技術審査



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974



株式会社 広島二葉積算

代表取締役会長 岸 本 武
代表取締役社長 小 田 武 彦
コストアドバイザー

建築の積算及工事費の算出

〒730-0041 広島市中区小町2-20小町メールビル3F TEL247-6941
株式会社 二 葉 積 算 FAX245-8144
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目7-30 TEL03-3369-1244
小田急柏木ビル9階
各支社 東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌



有限会社 有 生



代表取締役 有瀬 寛

高知市針木東町 26 番 51 号 〒780-8086
TEL 088-844-3612
FAX 088-840-9977

建築積算システム開発

System Obje

システム オブジェ 山本 慎二

<http://www5.ocn.ne.jp/~yama1900>

システム開発協力

横段建築事務所

〒737-0001 広島県呉市阿賀北8丁目 5-18
TEL(0823)73-5721 FAX(0823)73-5621

中国地区唯一の建設総合専門誌

中建日報社

正確・迅速な報道をモットーに情報の的確にお届けします

株式会社 中建日報社 支社・支局

代表取締役 絹 井 正 博 岡山支社 086-225-5681 呉支社 0823-70-0226
〒730-0805 広島市中区十日市町2丁目1-8 山口支社 083-901-0188 周南支局 0834-32-7371
TEL (082) 297-7111 (代) 防府支局 0835-23-2906 東京・大阪・福岡
FAX (082) 297-7112 福山支局 084-920-8431

西風新都

KISHO
Printing Co., Ltd.

喜勝印刷株式会社

〒731-3168 広島県広島市安佐南区岸南2-5-5
Tel. 082-830-1711 Fax. 082-830-1001
東京支社
〒174-0071 東京都板橋区常盤台3-25-2
Tel. 03-3968-0080 Fax. 03-5392-7833
<http://kisho-no1.co.jp/>



支部通常総会

平成 26 年度支部定時総会を下記の通り予定しています。ご多忙とは存じますが、ぜひご出席下さい。詳細は改めてご案内します。

記

開催日：平成 26 年 4 月 18 日 (金)
場 所：メルパルク HIROSHIMA
広島市中区基町6-36

編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、良いお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2014年4月には、長年使われてきたMS社のwindowsXP・Office2003の延長サポートが終了されます。サポートが終了されるとすぐにそのパソコンが使えなくなるわけではありませんが、コンピュータウイルス・スパイウェア等のマルウェアに感染するリスクが高まるようです。最悪のケースではシステム及びデータの破損、情報の流出等の恐れもあるかもしれません。

当社ではwindowsXP機が数台、office2003はまだ多数現役で使用しています。消費税増税前には対応したいと思います。

本年一年が会員の皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念申し上げます。

(広報委員長 瀬尾 淳二)

積和会ゴルフコンペ

第36回積和会ゴルフコンペの開催を下記の通り予定しています。会員の皆様、賛助会員の皆様、奮ってご参加下さい。詳細は改めてご案内します。

記

開催日 平成26年4月19日(土)
場 所 未定(広島方面)
会 費 5,000円(商品、ミーティング代)

中・四タイムス第46号 編集：広報委員会

委 員 長 瀬尾 淳二

委 員 横山 静司

発 行 公益社団法人日本建築積算協会 中国四国支部
〒730-0013 広島市中区八丁堀3-12 砂原ビル301

印 刷 喜勝印刷株式会社